

令和元年度 事業報告書

社会福祉法人 白寿会

障がい者支援センター

大喜地

共同生活援助 事業報告

共同生活住居において、主に夜間や休日に利用者の方に、自立した日常生活又は社会生活を営む事ができる様に生活全般の支援やサービスの提供を行ない、利用者の方個々のニーズに応じて、身辺介助及び排泄支援、食事等の介護サービスの提供を行いました。本年度からは、定員を27名に増員し一度は満床になったものの1名退所となり、今現在は26名です。

今後も関係機関と協力しながら職員への指導、育成を行っていきたいと思います。

また、次年度は新委員会を発足し、円滑な施設運営とサービスの質の向上を図り、地域から頼りにされる施設にしていければと考えています。

<在籍状況> 定員：27名

4月	男性 21名	女性 4名	計 25名
5月~8月	男性 20名	女性 4名	計 24名
9月	男性 20名	女性 5名	計 25名
10月	男性 20名	女性 5名	計 25名
11、12月	男性 21名	女性 5名	計 26名
1、2月	男性 21名	女性 6名	計 27名
3月	男性 21名	女性 5名	計 26名

《余暇支援》 ショッピングを実施。《レクリエーション》カラオケ、ゲーム、テレビ観賞等

<活動及び行事>

4月	花見(中止)	10月	日帰り旅行(阿蘇)(11月に延期)
5月	ショッピング(6月に延期) スポーツ大会(5/12、2名参加)	11月	ショッピング(中止) 日帰り旅行(阿蘇)(11/13、10名参加)(11/21、8名参加)
6月	バスハイク(中止) ショッピング(6/13、5名参加)(6/21、10名参加)	12月	クリスマス会(12/23、20名参加)
7月	ふるさと祭り見学(雨天中止)	1月	初詣(1/12、2名参加)
8月	夏祭り(24名参加)	2月	ショッピング(中止)
9月		3月	ショッピング(中止)

◇行事について

・概ね計画通りに実施できたものの、感染症対策等で実施できなかったものもありました。

夏祭り・日帰り旅行・ショッピングに関しては、特に利用者の皆さんが楽しまれていたため、

次年度も継続して実施していきたいと考えています。

◇医療・看護について

・月1回指定医療機関からの訪問による健康診断が実施され、健康状態の把握が行われており、

利用者の方の体調の変化・疾病に応じて各専門医療機関への受診も行いました。

・インフルエンザ予防対策として手洗い・うがい・マスク着用などに努めた結果、感染防止に成果があり事業所内の罹患者は0名でした。又、バイタル測定(体温・血圧)を実施し健康状態の把握を行ない予防管理に努めました。

◇給食について

・嗜好調査を行い季節感のある食事、バランスの取れた献立や必要に応じて特別食の提供も行いました。次年度は、嗜好調査も実施し、可能な限り利用者がさらに満足できるよう努めていきたいと考えております。

◇防災について

・昨年7月と本年2月に防災訓練を実施し、防災訓練や職員の非常招集など日頃訓練を通じて、利用者の避難や災害時のシミュレーションを行いました。次年度は、実施時期を見直し年内に2回実施したいと思っております。

◇研修について

・各団体主催の研修会に参加し、職員個々のスキルアップと意識向上を図ることができました。

次年度は前年度と同様に虐待防止に関する研修会には積極的に参加し、還元研修を通して

他職員にも伝達できればと思っております。

◇会議委員会について

・全体会議を始めケア会議、担当者会議を実施し利用者の方の支援に活かすことが出来ました。

また、円滑な施設運営と職員の質の向上に向け、新たな委員会を発足させたいと考えています。

短期入所 事業報告

短期入所の主な目的である、介護者等の休息が安心してできるよう、利用者の日々の生活状況の把握と必要なサービスの提供、環境整備に努めることが出来ました。

次年度も短期入所のニーズは高くなると考えています。可能な限り受け入れを行い、家族や関係機関から頼りにされる事業所を目指します。

＜利用状況＞ 定員：2名

月	合計（利用日）	平均（利用者数）
4月	17日	0.56人
5月	12日	0.38人
6月	6日	0.2人
7月	10日	0.32人
8月	8日	0.25人
9月	13日	0.41人
10月	26日	0.83人
11月	22日	0.73人
12月	24日	0.77人
1月	23日	0.74人
2月	15日	0.51人
3月	16日	0.51人

1) サービスの実施

日常生活における基本的な、入浴・排泄・食事の支援に加え、利用者個々のニーズに答えることができるよう努めました。

2) 食事・栄養面の支援

各利用者の身体状況や嗜好に配慮し、バラエティーに富んだ食事の提供を行うことが出来ました。

3) 医療・看護について

日常生活上必要なバイタルチェックや投薬その他必要な管理や記録を行い、緊急時には家族に連絡、相談しながら適切に対応することが出来ました。

生活介護 事業報告

利用者の方や家族のニーズを正確に把握し対応する事を目標にサービスの提供を行いました。食事支援や排泄支援、特に入浴支援は身体の清潔及び皮膚病、その他の疾病を早期に発見する為に平日に毎日実施しました。又、レクリエーションの機会も提供し、利用者の方が自立した日常生活又は社会生活を営む事ができる様に支援しました。

また、提供したサービスの評価をする事でサービスの質の向上に努めました。

<在籍状況> 定員：20名（月平均、定員の125%まで1日最大150%までは可）

4～6月	男性 16名	女性 10名	計 26名
7～9月	男性 16名	女性 9名	計 25名
10月	男性 16名	女性 8名	計 24名
11～12月	男性 17名	女性 8名	計 25名
令和2年1月	男性 17名	女性 9名	計 26名
〃 2月	男性 17名	女性 9名	計 26名
〃 3月	男性 17名	女性 10名	計 27名

※平成31年4月時点での1日平均利用者数はおよそ16名であったが、令和2年3月時点ではおよそ18名の利用者数となっています。

<入浴支援> 月～金曜の主に午前中に生活介護利用者を対象に入浴の支援を実施。

<創作的活動> 塗り絵・貼り絵・パズル・折り紙・スクラッチアート等。

<軽運動> リハビリ(機能訓練)、ストレッチ、ラジオ体操。

<レクリエーション> カラオケ、ボーリング、魚釣り、カードゲーム、DVD鑑賞等。

<生産活動> フルーツキャップ、箸入れ

<活動及び行事>

4月	お花見	10月	ハロウィン
5月		11月	日帰り旅行、ゆきその音楽祭見学
6月	ショッピング	12月	クリスマス会
7月		1月	初詣
8月	夏祭り	2月	節分豆まき
9月		3月	

※R2年2月以降は新型コロナウイルス予防のため、外出行事の実施は控えています。

<健康管理>

- 1日1回のバイタル測定(体温・血圧)と月1回の体重測定を実施しました。
- 利用者の状況の変化に応じた協力医療機関への受診を行いました。
- バイタル測定や職員のマスク装着の徹底等で大喜地入居者のインフルエンザは0名、外部利用者は1名にとどまっています。
- 清潔面への管理が必要な方が多かった為、今後も継続して支援を行なっていきます。
- 新型コロナウイルス予防対策として送迎時の検温の実施し、また手洗い・消毒の周知徹底を図りました。

就労継続支援B型 事業報告

B型事業所は、下請け作業と農作物の栽培から販売を主な作業種目として実施してきました。下請け作業では、フルーツキャップや箸入れ、車の電装部品の袋入れ等を行い、近隣農家での施設外就労も行いました。ただ農作物の栽培作業につける利用者は1名しかおらず、農園に多数の職員配置が必要になり、人件費が掛かり経費の割に農業収益は伸びていないのが現状でした。今後は手間がかからず栽培できる作物を選定し、安定した収益確保ができるような作業体制を構築する事が必要で、施設外就労や新しい作業種目の導入を検討し、御利用者様が生産活動などの機会を通じて、自立した日常生活や社会生活を営むことができる様に今後も支援を継続していきます。

<在籍状況> 定員：20名（月平均、定員の125%まで1日最大150%までは可）

4月～5月	男性 12名	女性 7名	計 19名
6月～7月	男性 12名	女性 7名	計 19名
8月～12月	男性 12名	女性 7名	計 19名
1月～2月	男性 11名	女性 7名	計 18名
3月	男性 13名	女性 8名	計 21名

< 就労支援 >（担当者） サービス管理責任者・生活支援員5名・職業指導員1名
目標工賃達成指導員1名

（作業内容） 農産物の栽培・販売、下請け作業（車の電装部品・箸入れ・フルーツキャップ等）

（工賃） 作業訓練で生産活動に係る事業の収入から必要な経費を控除した額 相当する金額を工賃として支払っています。

< レクリエーション > ふるさと祭り見学等

<活動及び行事>

4月		10月	
5月		11月	音楽祭見学・日帰り旅行
6月		12月	クリスマス会
7月		1月	
8月	夏祭り・販売会	2月	
9月		3月	

相談支援事業所 事業報告

当事業所は、美里町の指定を受け平成30年10月に再開し、同年11月より指定特定相談支援事業を実施しました。主に、美里町と他市町（宇城市・山都町・甲佐町）を実施地域として、知的・精神・身体障がい者の方々が安心して日常生活や社会生活が送れるよう実施してきました。また、障がい者や家族等からの相談を受けて、地域障がい者福祉の諸問題について、必要な情報提供や助言、福祉サービス利用等の支援を行うとともに、関係機関や福祉サービス提供事業所と調整や権利擁護に必要な支援を含め、福祉サービス利用等に伴う計画相談支援を実施しました。

相談内容

計画相談の実施で福祉サービスに関する支援を行うなかで、行政やサービス提供事業所との連絡調整やサービス利用状況の把握を行っています。次に他同事業への移行の相談と、職場などの人間関係の相談が多くありました。また、療育関係の相談では、支援学校、関係機関と連絡調整をし、福祉サービス利用や一般就労者の基本相談に繋がっています。圏域では、各相談支援事業所が参加しての連絡協議会に適宜参加し、相談支援に関する問題点や包括的な話し合いを行っています。

○障がい者支援の「定例会」に参加し、ケースの検討や情報交換等を通じて、障がい者支援のネットワーク体制作りを進めています。

○進路面では、特別支援学校と連絡調整等を図り、一般就労に伴う見守り及び、基本相談に取り組んでいきます。

○行政との相談支援事業について、情報交換等に努めています。

令和元年度

	サービス等利用計画	モニタリング	計
計画相談件数	16件	65件	81件

研修事業報告

月	施設内研修	施設外研修	部会・委員会
4			
5		社会福祉施設に係る労務、安全衛生管理講習会 (5/23 1名参加)	
6	ケア会議 (6/11 5名参加)		虐待防止・権利擁護委員会 (6/11 1名)
7	虐待防止研修会 (7/3 1名参加) (7/4 5名参加)		
8			
9	サービス担当者会議 (9/7 4名参加) (9/15 3名参加)	宇城圏域障がい者支援協議会研修会 宇城圏域地域生活支援拠点等整備事業 研修会 (9/21 2名参加)	
10	虐待防止研修会 (10/25 3名参加)		虐待防止・権利擁護委員会 (10/9 2名)
11	ケア会議 (11/5 5名参加)		
12		熊本県強度行動障害支援者研修 (12/5,6 1名参加)	
1	ケア会議 (1/6 4名参加)	熊本県・熊本市連発発障害児に関する 講習会「大人の発達障がい」 (1/25 1名参加)	防災委員会 (1/31 2名参加)
2		令和元年度熊本県障害者虐待防止・権利 擁護研修会 (2/3 1名参加)	
3	サービス担当者会議 (3/4 4名参加) (3/7 4名参加) (3/14 4名参加) 虐待防止研修(3/17 6名参加)		虐待防止・権利擁護委員会 (3/9 2名参加)

※ ケア会議…月 1 回程度

※ 入所検討会議…入居検討前に協議する